

目 次

巻頭言

1. 循環計画システム研究室の概要	1	
2. 研究室の研究体制		
(1) 研究体制の全体図	1 1	
(2) 循環計画システム研究室の構成員	1 2	
(3) 寄附講座 バイオリサイクル工学 (クボタ) 講座の構成員	1 4	
(4) 寄附講座 不法投棄対策工学講座の構成員	1 5	
3. 活動報告		
3. 1 研究業績	1 7	
3. 2 2006 年度研究プロジェクトの概要		
(1) CDR 研究会	2 5	
(2) O R S 研究会	2 6	
(3) 環境省廃棄物処理等科学研究	2 7	
(4) 文部科学省科学研究	2 8	
(5) 受託研究	2 9	
3. 3 2006 年度研究室セミナー等の日程	3 1	
3. 4 対外活動の紹介		
(1) マスコミ報道	3 3	
(2) 海外出張	4 8	
(3) 寄附講座 バイオリサイクル工学 (クボタ) 講座の活動	5 5	
(4) 寄附講座 不法投棄対策工学講座の活動	6 0	
(5) 委員会活動等	6 7	
4. 論文		
4. 1 博士論文		
Promentilla, Michael Angelo B.		
Development of a Multiple Criteria Decision Making Method for		
Remedial Countermeasures of Contaminated Site	6 9	
4. 2 修士論文		
(1) 上村友美	河川の硝酸性窒素汚染源同定のための大腸菌群遺伝子分析手法の検討	7 1
(2) 清水心太	家畜ふん尿の適正管理および有効利用促進のための施設導入可能性の検討	8 1
(3) 竹中康倫	廃棄物系バイオマスを利活用する自治体のリサイクルシステム選択のための ANP 手法の検討	9 1
(4) 戸田佑紀	北海道における最終処分場の再生可能性とバイオガス発生ポテンシャルの検討	1 0 1
(5) 長尾由加利	不法投棄現場の環境再生に関するニーズ調査手法の提案 ー青森・岩手県境不法投棄現場の跡地利用を例としてー	1 1 1
(6) 長山真子	原位置バイオレメディエーション法によるテトラクロロエチレン汚染現場の修復可能性の検討 ーカラム連続試験によるモデルパラメータの決定と修復効果予測ー	1 2 1

4. 3 卒業論文		
(1) 大塚美夏	不法投棄現場修復のためのテトラクロエチレン嫌気性微生物分解と その影響因子に関する研究	1 3 1
(2) 佐藤剛	生ごみバイオガス化・有料化導入効果の評価のためのシステム分析	1 3 9
(3) 佐藤直生	ANP 手法を用いた廃棄物管理の広域化システム評価	1 4 7
(4) 杉本知輝	不法投棄廃棄物のバイオガス化検討のためのメタン発生量と残渣性状の実験的考察	1 5 5
(5) 玉田昭太郎	有機系廃棄物のバイオガス発生量評価手法の検討 一回分実験における種汚泥の影響と有機物分解率の考察	1 6 3
5. 研究室の風景		1 7 1
6. Communication Room		
6. 1 10 周年記念特集		
(1) 年表		1 7 5
1) 在籍者年表		1 7 5
2) 大年表 (オフィシャル行事, 学会発表, コミュニケーション等を写真とともに整理)		1 7 7
(2) 研究室の統計		1 8 8
1) 在籍学生数の推移		1 8 8
2) 研究室のゼミの内容		1 8 9
3) 博士、修士、卒業論文リスト		1 9 0
4) 業績		1 9 4
(3) 「環」読者アンケート		2 0 3
6. 2 Talk Show		2 0 9
7. 資料／北海道大学の組織変更による工学研究科・工学部の新旧組織対応図、研究室所在地図		2 3 1